謹賀新年

本年もまいたに人権文化センターをよろしくお願いいたします

まいたに解放文化祭を開催しました！

11月6日（木）、7日（金）の2日間、「寄り添う心がつくる　みんなの居場所」の人権啓発標語を掲げ、まいたに解放文化祭を開催しました。子どもたちの元気いっぱいな太鼓の音色が響いた米谷保育所の和太鼓演奏から始まり、NHK大阪放送局チーフプロデューサーの森下光泰さんの人権講演会、米谷東自治会のけん玉チャレンジなどの催し物も開催し、子どもから大人までたくさんの方々に足を運んでいただきました。また、人権に関するパネル展示を行い、各学校園、地域の方々にもご協力いただきました。まいたに人権文化センターで日頃から活動する定例講座の作品発表の場にもなりました。2日間の総来場者は2,199名でした。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

文化祭のアンケートより

- 人権について学ぶ貴重な場になっていると感じました。準備、運営大変かと思いますが、開催して頂きありがとうございます！
- ありがとうございました。来年も参加したいです。
- どの作品も心にひびく言葉がありました。DVD 上映会では震災の辛さ、人の死からの悲しみはいつになっても消えないことも、人から裏切られた苦しみは他の人までも信用できなくなるけど、人は誰かに救われるという大切さを再認識しました。
- 部落問題を始め、多岐にわたる人権問題に取り組まれている展示が素晴らしいと思いました。
- 自分の人権意識を振り返る良い機会になりました。
- きれいな展示スペースでとても感心しました。これからもこの場が大切に受けつがれますように。
- 小さな子もたくさんいて、こんな頃から人権（といえば大げさですが・・）を学び感じることは大切なことだと思いました。
- 毎回いろいろなことを考え直せるいい機会だと思っています。
- 毎年、この解放文化祭に来ると、人権意識が高まります。今年はフェスタのようなイベントも多くあり、楽しく学ぶことができました。
- 毎回見学する度に新しい知識、情報を得ることがあります。継続することの大切さを感じました。
- 子ども達も人権について学んでいることがすばらしいと思いました。

まいたに人権文化センター人権出前講座

まいたに人権文化センター人権出前講座を開催しました

11月20日（木）に宝塚市立売布小学校にて、まいたに人権文化センター人権出前講座を開催しました。当日は視覚に障碍のあるセンター職員が講師となり、「障碍のある人への理解について～視覚障碍者の視点から～」というテーマで小学４年生を対象に講座を開催しました。クイズを交えての日常にある障碍者マークの紹介、そしてアイマスクを使って視覚障碍者の見え方を体験してもらうことで、障碍のある人の気持ちや大変さを理解してもらいました。子どもたちは熱心に話を聴いていました。人権について考える良い機会になったのではないでしょうか。

まいたに人権文化センターだより

-発　行-
宝塚市立まいたに人権文化センター
宝塚市今里町5－1
電　話　84－4461
ファックス　84－4463

【人権啓発標語】
ちがいとは
みんなが持ってる
宝物
～2024年度ハーとん人権作品賞（標語の部　最優秀賞）～

年末年始のセンター休館日
令和7年12月28日(日)から
令和8年1月4日(日)まで